

## 市民憲章 ～みんなでつくる わたしたちのまち～

第1章 自然と調和したまち 第2章 笑顔あふれるまち 第3章 安全安心なまち 第4章 市民が協働するまち 第5章 活力ある交流のまち

### 第1章 第9次氷見市総合計画の策定にあたって

- ・計画策定の趣旨 新たな時代の持続可能なまちづくりの方向性を明らかにすることを目的に、これから10年間の新たなまちづくりの指針として策定するもの
- ・計画の役割 ①市民が主役となるまちづくり ②主体的かつ計画的にまちづくり ③国、県、連携市等に対して、役割を明確にする
- ・計画の構成と目標年次  
基本構想（10年）、基本計画（5年）、実施計画（5年）

### 第2章 氷見市の概要

①位置・地勢 ②自然・地域資源 ③歴史・沿革 ④氷見市の人口推移と人口ビジョン ⑤市民意識調査の概要

### 第3章 時代の潮流とこれからの氷見市

①安全・安心意識の高まり ②人口減少・少子高齢化の進行 ③持続可能な循環型社会の構築 ④Society5.0の実現 ⑤観光交流・関係人口の拡大

### 第4章 目指すまちの姿

1 まちづくりの考え方（基本理念） 2 目指す都市像 3 施策体系

#### 基本理念

本市のまちづくりを展望するとき、若年層の流出をはじめとした深刻な人口減少と少子化の進行、後継者不足による地場産業の衰退など解決すべき課題は多く、これからの10年間で人口減少しても幸せに暮らしていけるまちをつくる非常に重要な時期であると言えます。

そのため、市民・企業・行政等が協働し、SDGsの考え方にに基づき、産業振興やエネルギー施策などを推進するとともに、未来技術等の利活用などにより直面する様々な課題を克服し、多様な人材が活躍できるまちづくりが求められています。

地域社会の多様化が進むなか、それぞれを認め合い、人と人との絆を大切にしながら、地域における支え合いにより地域力の向上につなげ、すべての市民が心身ともに健康で幸せに暮らす、安全・安心で住みたいまちを目指します。

また、「ひみ寒ぶり」に代表される食、海から里山まで広がる豊かな自然、定置網漁業等の先人から受け継がれてきた歴史・文化など、氷見ならではの良さを大きく花開かせながら、内外との積極的な交流・連携を展開し、市民がふるさとに対して自信と誇りを持ち、心のゆとりと温かみを感じて、誰もが幸せに暮らせるまちを実現します。

未来を拓く  
自然交流都市像  
食文化で  
ひみ

### 第5章 施策の大綱

#### 基本目標

#### 住みたいまち

- 1 災害に強い安全・安心なまちづくり
- 2 誰もが元気に過ごせる暮らしの充実
- 3 快適で住みやすい都市環境の整備
- 4 人と自然が共生する環境づくり
- 5 市民の活気にあふれる地域づくり

#### 働きたいまち

- 1 食を生かしたまちづくり
- 2 持続可能な農林水産業の振興
- 3 商工業の活力が持続・発展するまちの創造
- 4 観光・交流の促進
- 5 エネルギーの地産地消や再生可能エネルギーの利用促進

#### 育てたいまち

- 1 結婚・出産しやすい環境づくり
- 2 仕事と両立できる子育て支援の充実
- 3 次代を担う子どもの育成
- 4 心豊かでゆとりある学びの充実
- 5 一人ひとりが尊重される社会の実現

#### 市民とともにつくる持続可能なまち

- 1 市民主体のまちづくり
- 2 効率的な行財政運営
- 3 広域、大学連携の推進

未来技術の活用

SDGsの推進

多様な人材の活躍推進

#### 4 総合計画と他の計画との関係

##### (1) 氷見市国土強靱化地域計画及び分野別計画との関係



##### (2) 氷見市まち・ひと・しごと創生総合戦略との関係

総合戦略の施策は、第9次総合計画の重点施策と位置付けます。

##### (3) 氷見まちなかグランドデザインとの関係

地域特性とまちなか資源の分布を踏まえて、まちなか市街地を5つのゾーンに区分し、ゾーン別のまちづくりを進めます。

### SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

